

平成23年度 第2回 地域緩和ケアリンクスタッフ研修会 アンケート集計結果

2011.12.2(金)
 荘内病院 3階 講堂 18:00～19:30

【内容】

- 緩和ケアに関する事例発表 とうら居宅介護支援センター 居宅介護支援専門員 本間純子氏
 知的障害のある終末期がん患者の事例。施設入所を検討した際、排泄物の悪臭や医療用麻薬を初めとする薬剤の自己管理ができないことが入所の障害になったり、家族の介護負担軽減のためのレスパイト入院の調整がうまくいかなかったり、ショートステイの受け入れも決まるまで時間を要し、その間病状も進行し、入院後亡くなったという経過。理解力が十分でないながらも患者の意向を最大限に尊重した関わりをされておられました。
- 緩和ケアに関する講義

「がん患者、家族とのコミュニケーション～難しい質問に皆さんはどうお答えしますか?～」
 鶴岡市立荘内病院 緩和ケア認定看護師 鈿持朝子氏

がん患者以外のコミュニケーションにも参考になる内容だったと好評でした。

【参加者】 33名

【アンケート協力者】 33名(回収率100%)

【職種内訳】 ケアマネ 73%、介護福祉士 12%、施設看護師 9%、介護士・介護員、相談員が 各3%

【参加者の所属】 居宅介護支援事業所 67%、グループホーム 9%、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・地域包括支援センター 各6%、有料老人ホーム・訪問介護事業所 各3% であった

【リンクスタッフかどうか?】 リンクスタッフ 52%、リンクスタッフ以外 27%、無回答 21% でリンクスタッフ以外の参加者が約半数であった

※今回は昨年の研修会で要望が高かったがん患者の精神的ケア・コミュニケーションに関する講義を企画したこと、またケアマネジャーの他の集まりがあったため、参加対象者は、リンクスタッフの代理やリンクスタッフ以外にも関心のある方は参加可能とした。

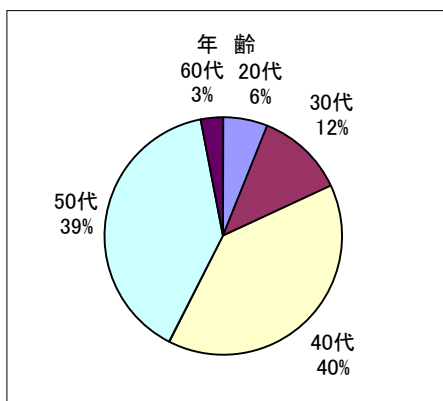
【事例発表や講義の有用性や理解度】

事例発表が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答した参加者は**88%**、講義が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答した参加者は**94%**、講義が「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」と回答した参加者は**79%**と、総じて研修会の評価が高かった。

I 参加者の属性

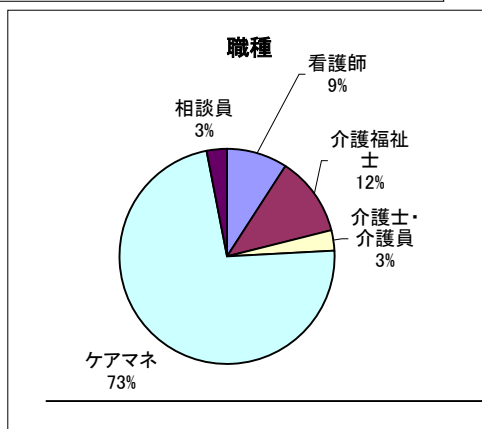
年齢

1	20代	2
2	30代	4
3	40代	13
4	50代	13
5	60代	1
total		33



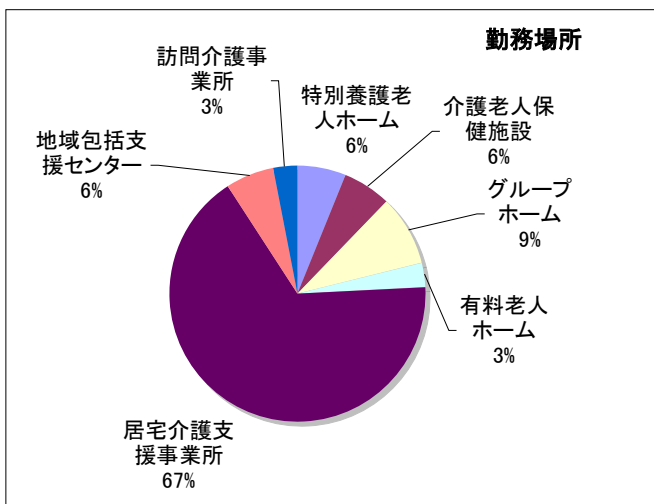
主職種

1	看護師	3
2	介護福祉士	4
3	介護士・介護員	1
4	ケアマネジャー	24
6	相談員	1
計		33



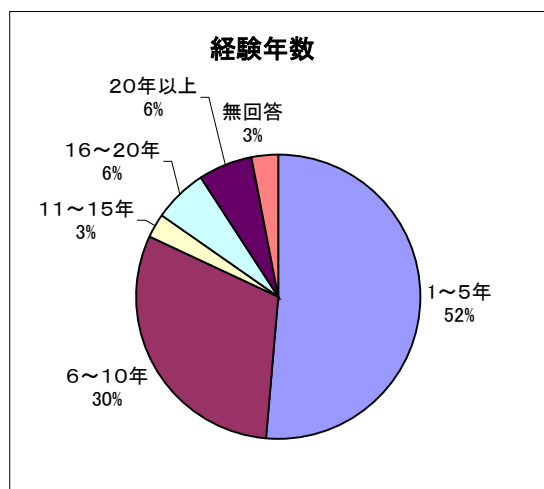
勤務場所

1	特別養護老人ホーム	2
2	介護老人保健施設	2
4	グループホーム	3
6	有料老人ホーム	1
7	居宅介護支援事業所	22
8	地域包括支援センター	2
9	訪問介護事業所	1
total		33



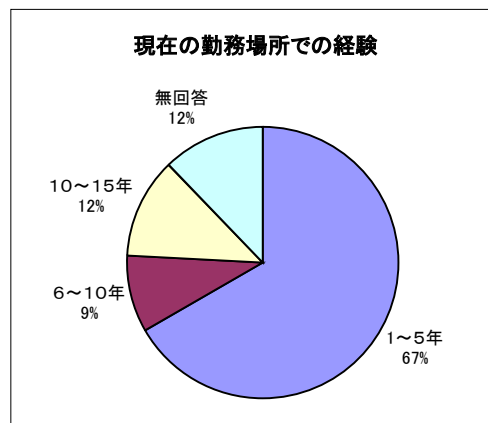
経験年数

1	1～5年	17
2	6～10年	10
3	11～15年	1
4	16～20年	2
5	20年以上	2
?	無回答	1
total		33



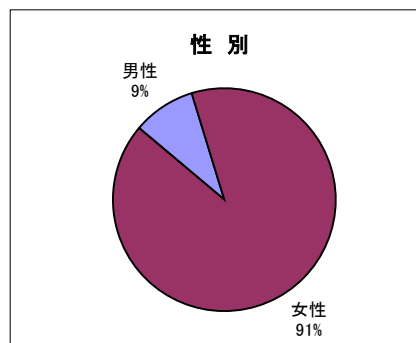
現在の勤務場所年数

1	1～5年	22
2	6～10年	3
3	10～15年	4
?	無回答	4
total		33

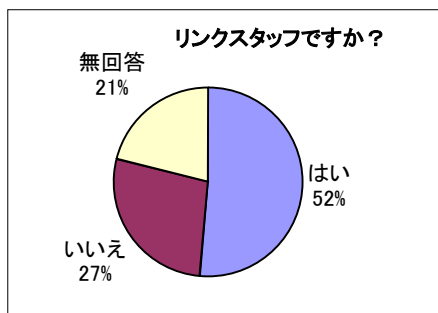


性別

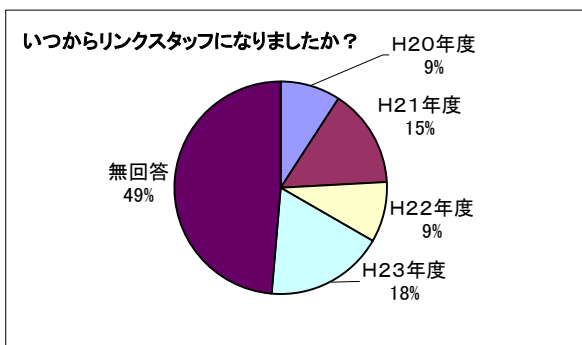
1	男性	3
2	女性	30
total		33



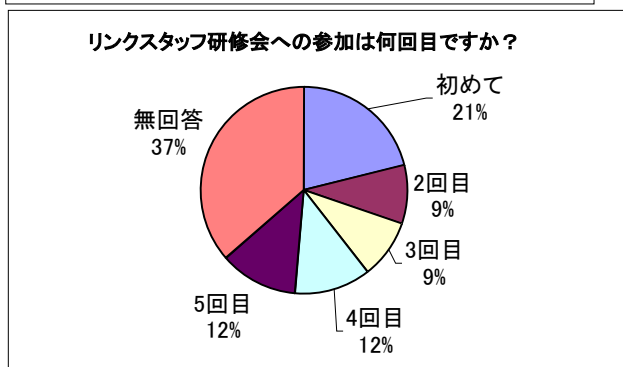
リンクスタッフですか？	1	はい	17
	2	いいえ	9
	?	無回答	7
	total		33



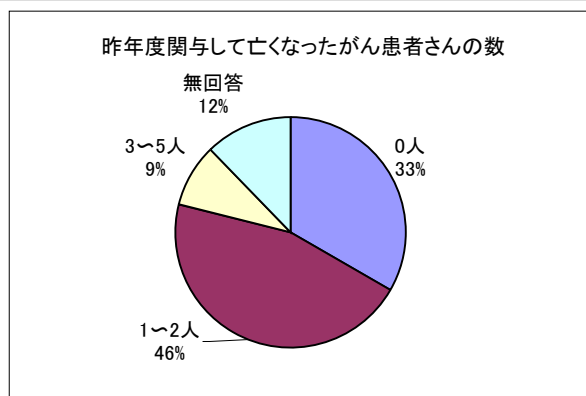
いつから？	1	H20年度	3
	2	H21年度	5
	3	H22年度	3
	4	H23年度	6
	?	無回答	16
	total		33



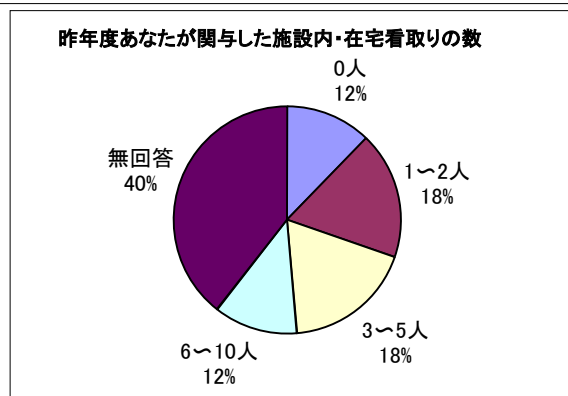
参加回数	1	初めて	7
	2	2回目	3
	3	3回目	3
	4	4回目	4
	5	5回目	4
	?	無回答	12
	total		33



関与したがん患者の看取り数	1	0人	11
	2	1～2人	15
	3	3～5人	3
	10	無回答	4
	total		33



関与した看取り数	1	0人	4
	2	1～2人	6
	3	3～5人	6
	4	6～10人	4
	5	無回答	13
	total		33

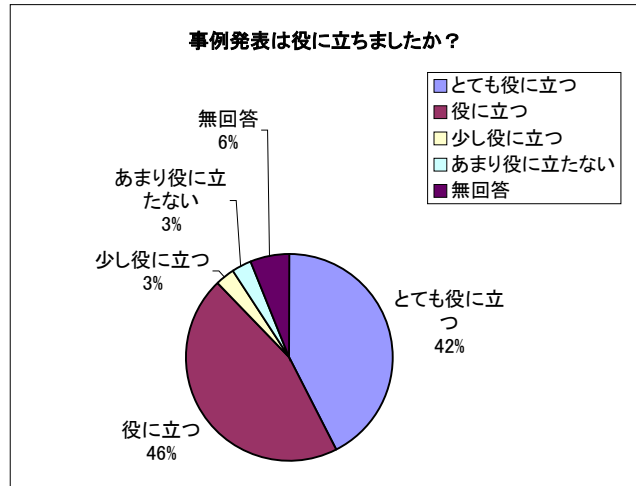


II 研修会の内容に関する有用性や理解度

①事例発表 とうら居宅介護支援センター 居宅介護支援専門員 本間純子氏

①有用性

1	とても役に立つ	14
2	役に立つ	15
3	少し役に立つ	1
4	あまり役に立たない	1
?	無回答	2
total		33



具体的にどのような点が参考になりましたか？(自由記載)

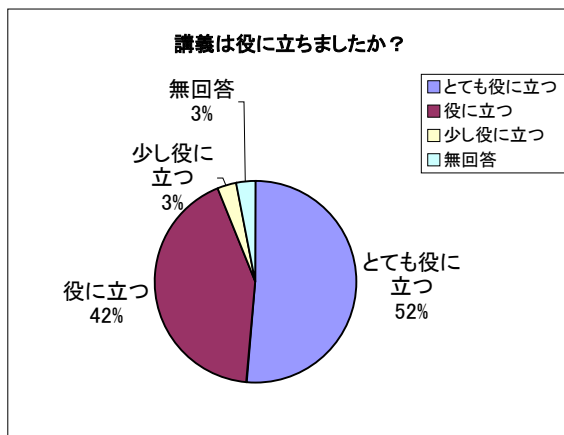
- 「障害者」とのかかわり(訪問介護事業所・介護福祉士)
- 自分が経験したことがないことを聞いて参考になりました。(包括支援センター・ケアマネ)
- 病状の進行に伴ったサービスの利用や選択肢について参考になりました。(グループホーム・介護福祉士)
- ショートステイで薬がネックになるなど、薬剤師の介入・連携で改善の可能性もあるかもしれないと思いました。(調剤薬局薬剤師・企画協力者)
- ケア対象者が、知的障害があり、肉親とも長年行き来がなかったというケースであったが、対象者と介護者のバランスを考え、支援しているように感じました。(特養・介護福祉士)
- 知的障害者や認知症の方には、その時その時の希望を叶えられたらいいということ。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- グループホーム勤務により、知的障害と認知障害は相違があるが、機会事もあるため。(グループホーム・介護福祉士)
- 知的障害の方の対応は、理解してもらえる話しかけなど困難も多かったと思う。(有料老人ホーム・グループホーム・看護師)
- 職場にがんの方が2名おりますので。(グループホーム・介護士・介護員)
- 予後。先々の予測がやはり必要。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- レスパイト入院の利用について上手に連絡を取らないと本人・家族に負担を大きくかけてしまう点(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 事例を通じてどのように取り組んできたかわかった。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 知的障害者の対応。今後、障害のある方が、介護保険に移行することが考えられるので、その時の細やかな対応が必要だということが参考になりました。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 自分だったらどうケアマネジメントするか・・・などと自身に置き換えて考える良いきっかけになりました。ケアマネさんが一番大変だったと思います。(特養・看護師)
- きめ細やかな対応、関わりを丁寧に行う。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 独居の方や家族関係について、入院までのサービス利用について事例に学ぶ。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- ショートステイ利用開始時期。家族間の調整。(包括・ケアマネ)

②講義 がん患者、家族とのコミュニケーション～難しい質問に皆さんは、どうお答えしますか？～

鶴岡市立荘内病院 緩和ケア認定看護師 鈿持朝子氏

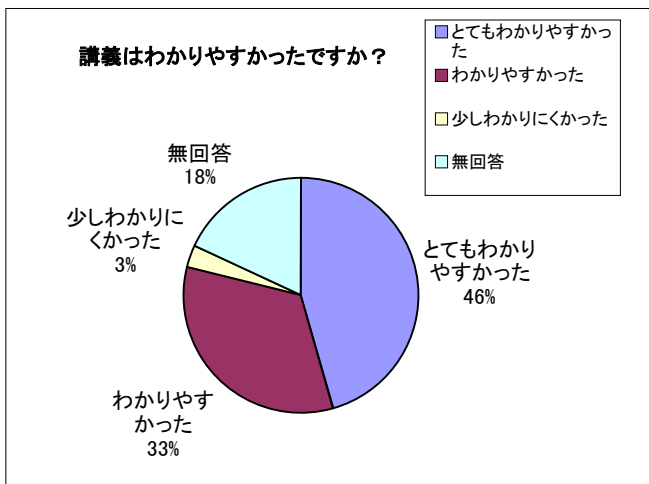
②有用性

1	とても役に立つ	17
2	役に立つ	14
3	少し役に立つ	1
?	無回答	1
total		33



②理解度

1	とてもわかりやすかった	15
2	わかりやすかった	11
3	少しわかりにくかった	1
?	無回答	6
total		33



講義の感想や講師に聞けなかったことなどありましたら教えてください。(自由記載)

- 迷いやブレなど(患者・家族)に対してのこと(訪問介護事業所・介護福祉士)
- がん患者の方以外にもあてはまるお話だと思いました。(包括支援センター・ケアマネ)
- わかりやすい言葉で、熱いメッセージでした。また講演聞きたいです。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 入居されている方で、癌を患っている方がおり、どのようにご家族が声をかけたらよいのかわかりませんが、本日の講義で特別に会話する必要はないとわかり、気持ちが楽になりました。傾聴を今以上に徹するように努めたいです。(グループホーム・介護福祉士)
- 具体的な対応をわかりやすくコミュニケーションに生かせるものだった。(訪問看護師・企画協力者)
- 感動的でした。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 「傾聴」と「寄り添うこと」は自分にもできるので、また実践していきます。(調剤薬局薬剤師・企画協力者)
- ご自分の事も話しながらとても聞いていて和めました。ありがたかったです。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 福祉の現場ではとてもコミュニケーションは大切です。傾聴することが仕事と思っています。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 末期のケアだけでなく、対老人、対ターミナル(がん以外)でも十分に生かせる内容でした。ありがとうございました。(特養・看護師)
- 対応の仕方、声かけ、考え方(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- もう少し時間があればよかった。(包括支援センター・ケアマネ)
- 普段の業務から培われた素晴らしいお話だと思います。とても役に立ちました。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)

質問

- がんの告知を本人にしてほしくなかった。本人が精神的に耐えられないのでは、と言われたらどう答えていけばいいのでしょうか？
- 講義では、「利用者の問いかけから逃げない」とありましたが、受容できなく、訪問しても何も話さず無言の時間がほとんどです。とても苦しい時間ですが、それでも訪問を重ねた方がよいでしょうか？自分自身を受け入れてもらえていないのでしょうか？悩みます。

Ⅲ リンクスタッフ研修会で扱ってほしいテーマや、参加しての感想、こんな場にしてほしいという要望等

- コミュニケーションについて、私達スタッフ同士の会話も、きっと信頼関係が築けないととても傷つくこともあります。(有料老人ホーム・グループホーム・看護師)
- 本当に勉強になりました。ありがとうございました。今回みたいな感じの参加が良いと思います。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 荘内病院内でのケア(治療以外の部分)内容がのぞけて良かったと思います。家族会の行事などもお知らせいただければと思います。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- 大変参考になりました。ありがとうございます。(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- ワークショップ形式(居宅介護支援事業所・ケアマネ)
- グリーフケアについて(居宅介護支援事業所・ケアマネ)